

四條畷市立中学校部活動の これまでの経過と 今後の展望について



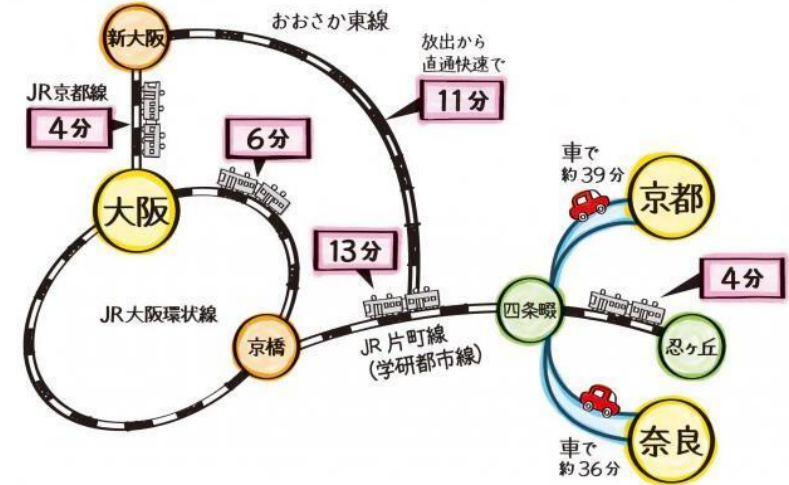
令和8年10月2日



四條畷市教育委員会事務局

四條畷市について

四條畷市地図



国の動向と本市の見通し

国の動向

改革推進期間

令和5年度～令和7年度

全国的な取組の推進

R5年度

R6年度

R7年度

改革実行期間（前期）

令和8年度～令和10年度

休日の地域展開に原則着手

R8年度

R9年度

R10年度

改革実行期間（後期）

令和11年度～令和13年度

全ての部活動で地域展開を実現

R11年度

R12年度

R13年度

本市の状況・展望

従来の部活動

部活動指導員

合同部活動

「なわて3Cクラブ」

「なわて2Cクラブ」

「なわて1Cクラブ」

教員の兼職・兼業

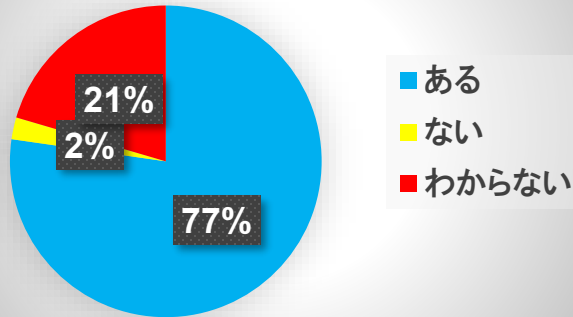
ポイントA

ポイントB

全てのクラブを
「なわて3Cクラブ」
「なわて2Cクラブ」
「なわて1Cクラブ」に統合

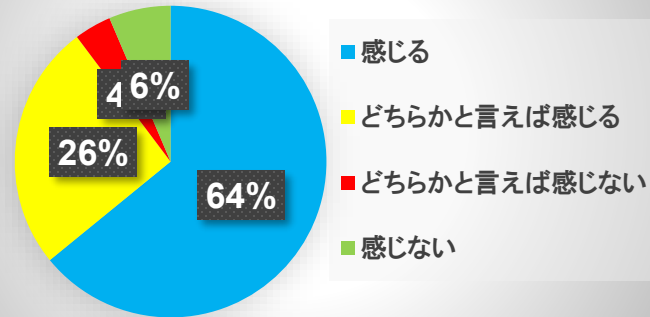
教職員・生徒対象アンケートより（令和6年度実施）

部活動指導に教育的効果があると思うか



部活動の教育的効果を認める
→ 77%

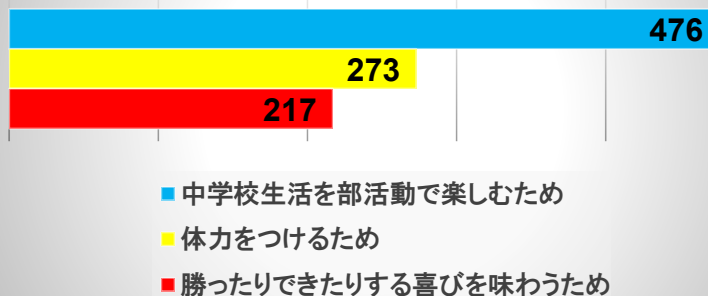
部活動指導について、負担を感じるか



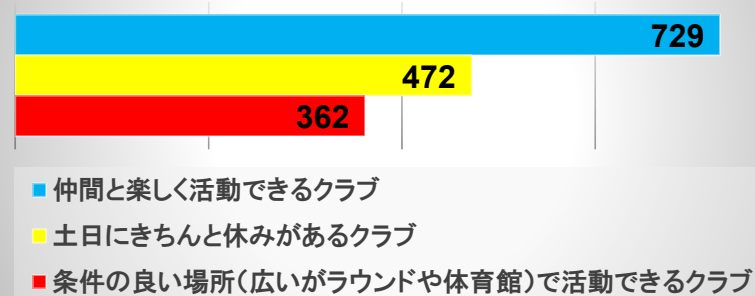
部活動指導の負担
→ 90%

⇒ 完全な廃止でなく
在り方の変化を

入部した理由

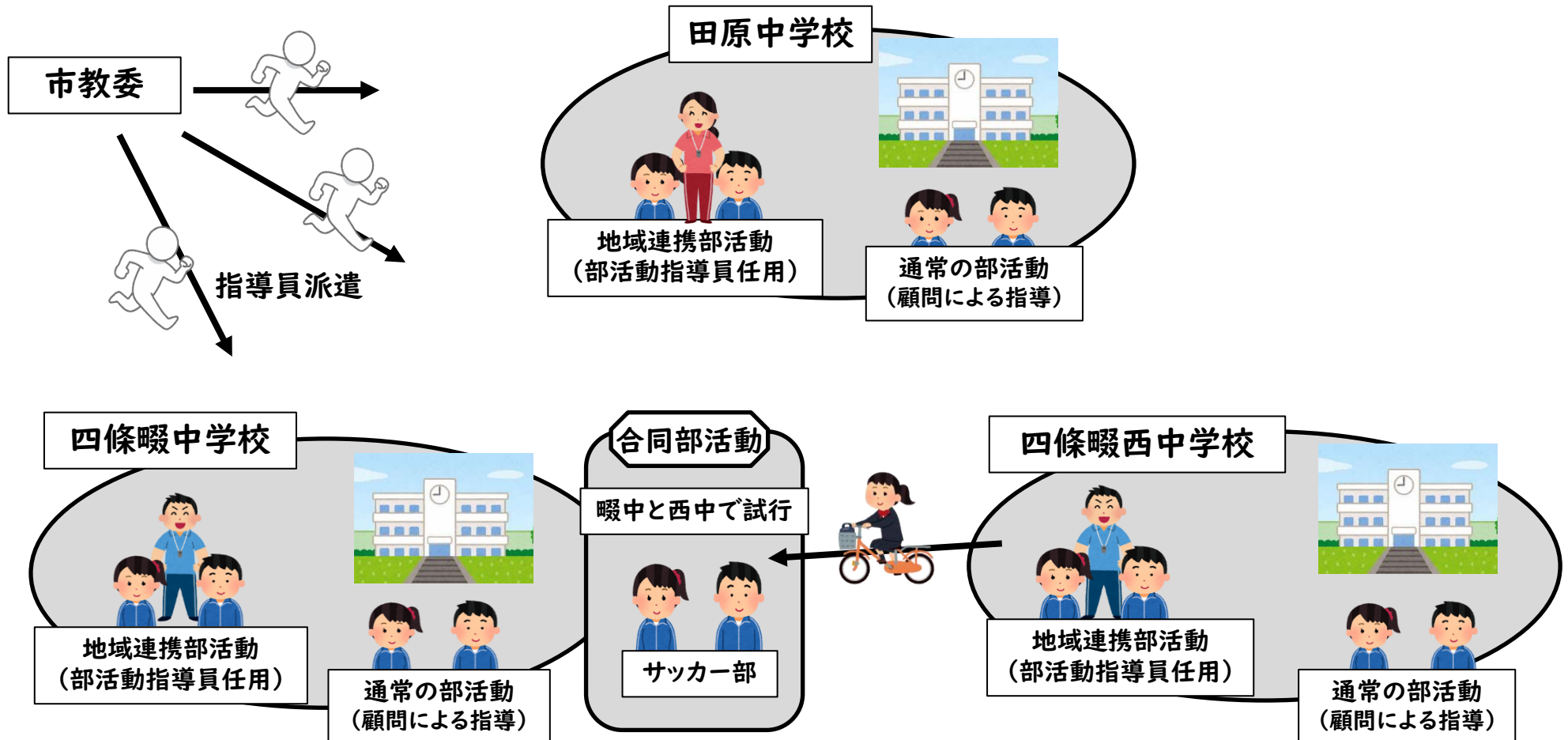


入部するならどんなクラブがよいか。

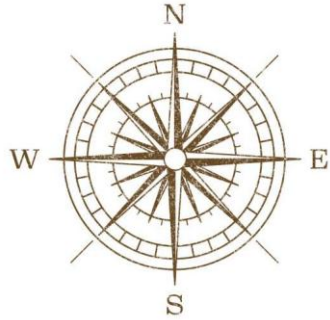


「楽しむ」ことへのニーズが高い ↔ スキルアップを求めているわけではない

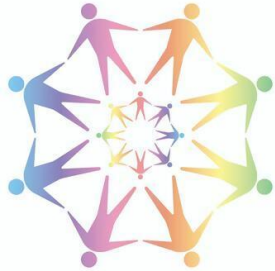
令和6年度の取組み



令和6年度当時の本市の立ち位置



絵が描けていない



地域団体とつながれていない

⇒進むべき道がわからない



地域団体との意見交換

○地域のサッカー団体



- ・地域移行に向けて力を貸してほしい ⇒ 快諾



多~~種~~目~~化~~

休日の活動 ~~×~~ 試合引率
大会運営等の業務

⇒平日の実技指導のみ
週1回活動



⇒ここから**どのように**描くか

地域団体との意見交換

○バスケットボール団体



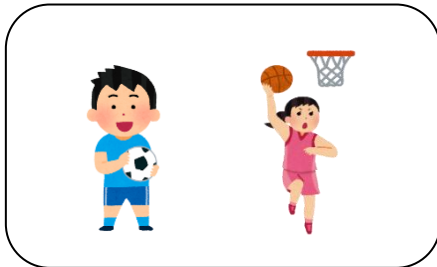
- ・部活動指導をさせてほしい

普段は不定期に出張指導

本業があるから
平日1回

土曜日引率不可

⇒部活動指導員として
任用は難しい



⇒何か**描ける**のではないか

四條畷市が見出した新たな価値

「なわて3C（トリプルシー）クラブ」

【目的】

Change（これまでの部活の概念を変える）

Challenge（大会とは違った自分自身の目標に挑戦）

Chance（これまでにしてこなかった種目に触れる機会の創出）の3つのCの達成をめざす。

【利点】

生徒

- ◎いままでできなかった種目に触れる機会の創出
- ◎遊びではなく、専門家の指導で競技の楽しさに触れる
- ◎放課後の居場所づくり

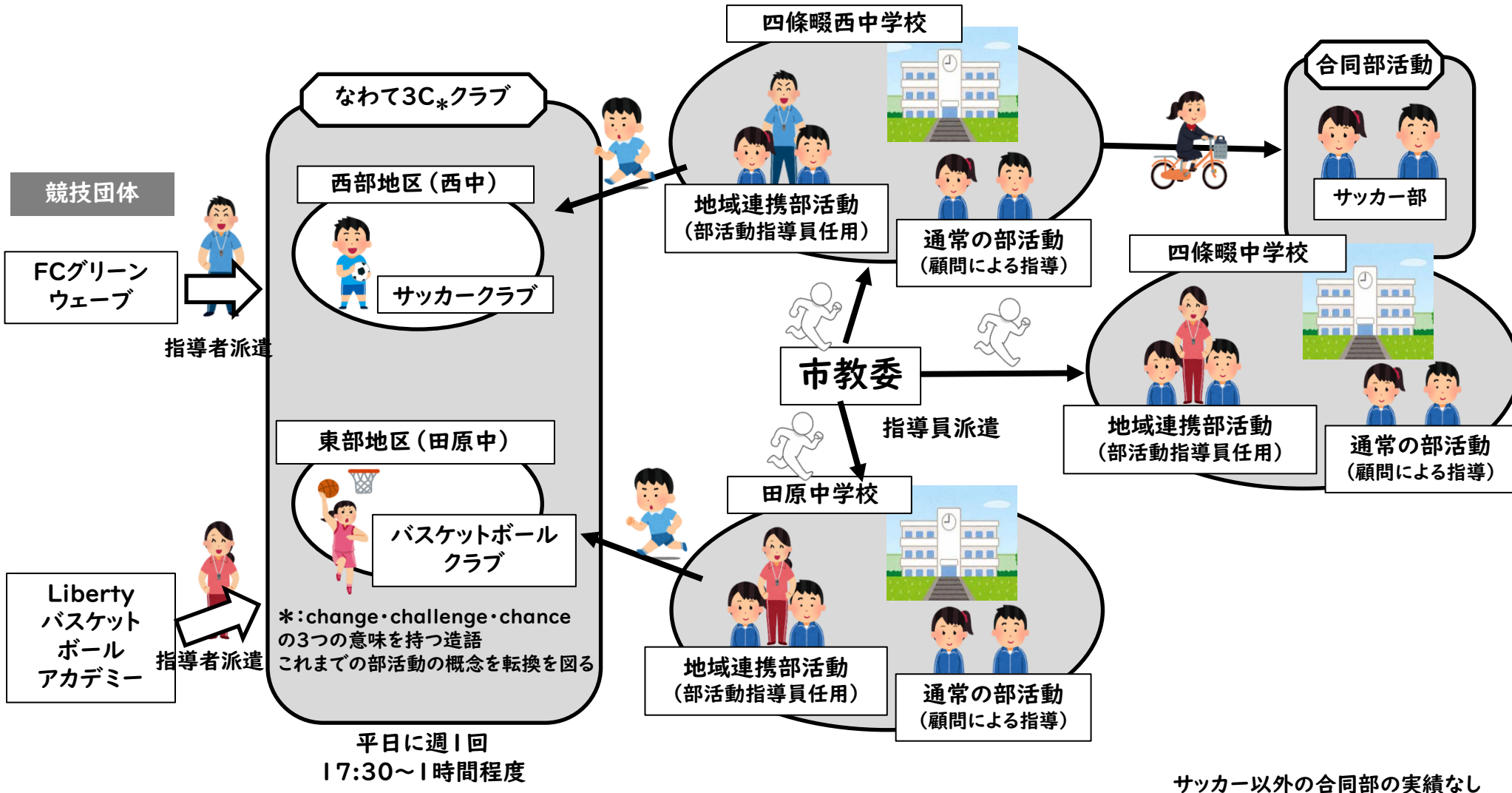
学校

- ◎（完全に地域に移行が進めば）土日の負担の軽減
- ◎創部の要望を地域に移管することが可能になる
- ◎廃部時に地域に移管しやすくなる

地域団体

- ◎競技に対する裾野を広げ、新たな競技者を生み出す
- ◎（現有団体との融合が進めば、）地域の活性化につながる
- ◎多世代間の交流から、それぞれのやりがい・生きがいにつながる

令和7年度の取組み



主な課題や不安材料

- ・ 保護者への連絡手段
- ・ 備品の保管や施設管理
- ・ 生徒間トラブルへの対応（他校間を含む）
 - 結果的に負担が増えるのではないか
- ・ 指導者への信用の担保

⇒解決に向けて検討

地域団体との意見交換

○市内で活動するバドミントンの実業団



- ・地域展開に向けて力を貸してほしい ⇒ 快諾

選手兼職員なので退勤後に…

選手兼職員なので練習場所が…

○近隣で活動するテニススクール



- ・地域展開に向けて力を貸してほしい ⇒ 快諾

スクールの時間には指導できない

⇒お互いのwin-winを探す

四條畷市が見出した新たな価値

「なわて2C（ダブルシー）クラブ」

【目的】

従来の部活動の目的に加えて、
Cooperation（地域と相互での協力し、四條畷の子どもの健やかな成長を応援する）
Connection（地域とのつながりの強化する） の2つのCの達成をめざす。

【概要】

- ・団体の活動場所での活動を原則とし（学校施設を含む）、団体の意向により中体連への加盟を可能とする。
- ・競技者が市内在住の中学生のみの団体については、使用料がかからないように関係各課と協議する。
- ・団体に対して指導を委託するが、元々の団体の活動部分については受益者負担を基本とする。
- ・（将来的に）教職員が兼職・兼業で従来のような部活動を指導する場合は「なわて2Cクラブ」として活動する。

令和8年度の取組み(現時点)

四條畷西中学校

地域連携部活動
(部活動指導員任用)

通常の部活動
(顧問による指導)

指導員派遣

市教委

指導員派遣

四條畷中学校

地域連携部活動
(部活動指導員任用)

通常の部活動
(顧問による指導)

なわて3C*クラブ

西中

サッカークラブ
Ten・アスリッド

西中

バスケットボールクラブ
LibertyBasketballAcademy

畷中

バドミントンクラブ
WAKOKAI

西中

ソフトテニスクラブ
Lusty寝屋川テニススクール

*:change・challenge・chance
の3つの意味を持つ造語
これまでの部活動の概念を転換を図る

平日に週1~2回
17:30~ 1~2時間程度

なわて2C*クラブ

団体の活動場所に参加

剣道クラブ
四條畷剣友会

競技団体
(中体連に加盟)

*:cooperation・connection
の2つの意味を持つ造語
地域のつながりを生かし、学校だけでは
活動困難な部活動を活性化する

公共施設(学校含む)にて指導

競技団体

田原中学校

地域連携部活動
(部活動指導員任用)

通常の部活動
(顧問による指導)

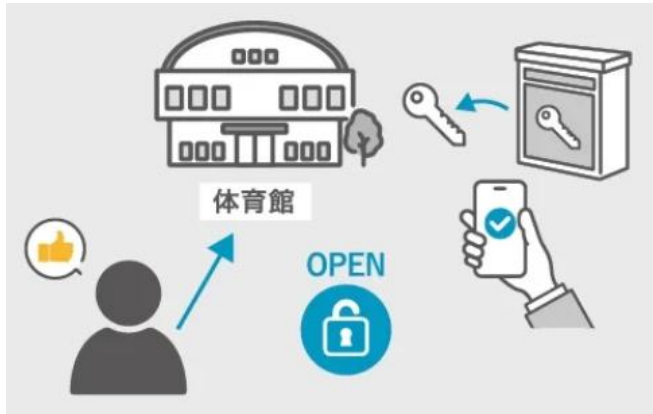
指導員派遣

市教委

業務委託契約

令和8年度の合同部活動は
現時点で活用なし

課題解決に向けた主な施策 ①



無人鍵管理サービスの導入

- ①地域クラブ指導者にキーボックス解錠の権限を付与
- ②指導者のメールアドレスに解錠用の2次元コードを送付
- ③活動日に、キーボックスを解錠し、セキュリティカードと必要な鍵を取り出す。
- ④セキュリティカードを用いて校門のセキュリティを解除し入構する。
- ⑤キーリングについての必要な鍵を用いて体育館や倉庫などの開閉を行う。

⇒教員の対応が不要に

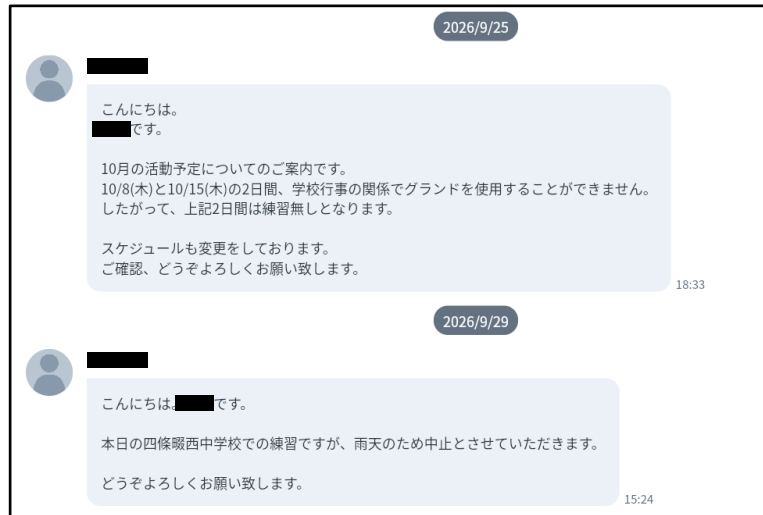
課題解決に向けた主な施策 ②



スケジュール管理、連絡機能アプリの導入

①指導者が活動日を設定

②生徒がそれを見て「出欠」を入力する



①参加者が全体に共有したいことを書き込む

②それを他の参加者が事項を把握したり反応したりする

※特定の参加者との1対1のやり取りができない

※すべてのやり取りは管理者が確認可能

次年度に向けた新たな計画

「なわてIC（シングルシー）クラブ」

【目的】

これまでの部活動という枠組みにとらわれず、種目の壁を越えた活動を経験することで Catalyst（何か新たな変化を起こすためのきっかけづくり）となることをめざし、生徒に化学変化を生み出す。

【概要】

- ・団体の活動場所での活動を原則とするが、必要に応じて学校施設の利用を可能とする。
- ・参加者の募集や保険加入、連絡調整等、事務局と連携しながら運営する。
- ・競技者が市内在学の中学生のみの活動については、使用料がかからないように関係各課と協議する。
※学校としてはの立ち位置は、夜間開放に準ずる。
- ・団体に対して指導を委託する。
委託部分以上の活動を生徒が希望する場合は受益者負担とする。
- ・現在、フィジカルトレーニング、ボウリング、相撲、ダンスを指導可能な企業または競技団体と交渉中。
- ・（将来的に）教職員が自身の経験や強みを生かし、中体連や文化芸術団体等の特定の競技・種目にとられない活動を指導する場合は「なわてICクラブ」として活動する。

めざす部活動改革の姿を実現するための取り組み



	「なわて1C(シングルシー)クラブ」	「なわて2C(ダブルシー)クラブ」	「なわて3C(トリプルシー)クラブ」
目的	Catalyst これまでに経験できなかったような種目を体験し、新たな行動を起こすようなきっかけになることを期待する。	Cooperation・Connection より多様なつながりの中で専門的な指導を可能にし、自己の向上をめざす。	Change・Challenge・Chance 競技の楽しさに触れ、新たな可能性に出会い、自己の向上をめざす。
イメージ	従来の部活動にはなかった種目を開設、新たな化学変化を生み出す。	大会に参加するなど、より高い目標に向かって切磋琢磨する。	試合にとらわれず、楽しくスキルアップをめざす。
実施例と想定される種目	フィジカルトレーニングやダンス、相撲やボウリングなど、文化的活動では英会話やe-スポーツなども想定。	剣道や水泳 今後、教職員が兼職・兼業する場合はこちらになる想定。	サッカー、ソフトテニス、バドミントン、バスケットボール 教員が開設することも想定。
	学校を含む公共施設や団体の拠点にて活動し、学校活動とは別にスポーツ保険等に参加する。		

⇒生徒の様々なニーズに応えるため複数への参加を認める

四條畷市が大切にしたこと

「常識」を疑い、「べき論」から抜け出す

「部活動はこうあるべきだ」それを作ったのは誰？

「正解」よりも「最適解」を探す

隣の市でうまくいったことが自分の市でうまくいくとは限らない
43市町村それぞれの最適解があるはず

「ヒト」を大切にする

「モノ」や「カネ」を生み出すのは難しい
「ヒト」は想いを共有できる

⇒**持続可能**な活動に

できることから少しずつ
⇒それが本市の**最適解**

ありがとうございました。

